算数科学習指導案

呉市立昭和北小学校
指導者　水島　瑞希
令和４年１１月９日（水）

学年　第１学年
単元名　かたちづくり

１　単元について

【単元観】

本単元は，小学校学習指導要領解説算数編第１学年,「B　図形」の指導事項（１）ア「(ア)ものの形を認め，形の特徴を知ること。」「(イ)具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。」，イ「(ア）ものの形に着目し，身の回りにあるものの特徴を捉えたり，具体的な操作を通して，形の構成について考えたりすること。」の内容を受けて設定したものである。

本単元では，色板や棒を並べたり点をつないだりして，いろいろな形を作る活動を通して，図形を構成する力や観察する力を身に付けることがねらいである。

【児童観】

本学級の児童の多くは，算数の学習に意欲的である。理解するのに時間がかかる児童もいるが，課題を途中で投げ出さず，最後まで取り組む姿が見られる。

「いろいろなかたち」の学習では，箱を積み重ねたり，面を写し取ったりする活動を通して，立体図形の特徴を捉えることができた。立体図形を複数組み合わせたものの中に，どの図形があるかを考える問題の正答率は，90%だった。

児童アンケートから,「友達の意見を聞いて，進んで自分の考えを分かりやすく伝えている。」に肯定的評価をした児童は 79.3%だった。このことから，自分の考えを分かりやすく伝えていると考える児童は多い。しかし授業者から見ると，考えた理由を説明したり，言葉や図と関連付けながら分かりやすく説明したりする児童は少ない。

【指導観】

本単元の指導においては，以下の４点について工夫・配慮しながら定着を図りたい。

①図形を構成する力を身に付けるために，色板や棒を使った操作活動を多く入れる。

②自分の考えを相手に分かりやすく伝えるために,「三角が２つで大きい三角ができる。」「三角が２つで四角ができる。」など，図と言葉をつなげて説明する場面を設定する。

③図形についての基本的な見方・考え方を身に付けさせるために，既習の「しかく」「さんかく」という言葉を使いながら説明をする活動を取り入れる。

④児童がつくった形や形を作る過程を学級全体で共有できるように，タブレット端末を活用する。

2　単元の目標

○色板や棒などを使って様々な形を作ることができる。
○図形についての基本的な見方・考え方を身に付けることができる。

3　単元で育成を目指す資質・能力

（1）知識及び技能（知識・技能）
○色板や棒などを使っていろいろな形が構成されていることを理解し，いろいろな形を作っている。
（2）思考力，判断力，表現力等（コミュニケーション力）
○図形についての基本的な見方・考え方を身に付ける。
（3）学びに向かう力，人間性等（自らへの自信）
○色板や棒などを使っていろいろな形をつくることに興味・関心をもち，意欲的に学ぼうとしている。

4　単元の計画（全6時間）

次	時	学習内容	評価規準	評価方法
第一次	1	・　色板を並べて，教科書と同じ形をつくる。 ・　色板を並べて他のいろいろな形をつくる。	【主体的に学習に取り組む態度】 いろいろな形をつくることに，興味・関心をもって，色板並べに取り組んでいる。	行動観察
	2（本時）	・　色板を使ってそれぞれの形をつくり，何枚でできているかを考える。	【思考・判断・表現】 影絵の形を観察して，色板の並べ方や枚数を考えている。	ワークシート，発言
	3	・　棒を並べていろいろな形をつくり，何本でできているかを考える。	【知識・技能】 色棒でいろいろな形をつくることができる。	行動観察
	4	・　点をつないでできた形を見て，何の形かを考え，いろいろな形をつくる。	【知識・技能】 点をつないでいろいろな形をつくることができる。	行動観察
	5	・　色板が並んでいる絵を見て，どこが変化しているかを考える。 ・　デジタルの「8」の形を他の数字に変形させるには，棒をどのように動かせばよいかを考える。	【思考・判断・表現】 形の同じところや違うところに着目して，色板や棒を動かしている。	行動観察
第二次	6	・　色板や棒などを並べて自分の好きな図形をつくり，発表する。	【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの学習を振り返り，自分の好きな図形をつくり，友達に伝えようとしている。	行動観察

5　本時の目標

色板の並べ方を工夫して，影絵の形を構成することができる。

6　本時の学習展開（２時間目／全６時間）

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
1　前時の学習を振り返る。 〇前の時間では何が分かりましたか。 ・「きほんのさんかくさん」が２枚で大きな三角ができることが分かった。 ・「きほんのさんかくさん」が２枚で四角ができることが分かった。	・　前時は色板「きほんのさんかくさん」を使っていろいろな形を作ったことを確認する。 ・　影絵の形に興味・関心をもたせ，同じ大きさの同じ形をつくるという本時の課題を把握できるようにする。	
2　本時のめあてをつかむ。 かげえに　ぴったりあう　きほんのさんかくさん　のならべかたを　かんがえよう。		
3　色板の並べ方を工夫して，か～けの形を作る。 ◎「きほんのさんかくさん」が何枚でできますか。	・　影絵になっていない【か】の形を例に並べることにより，三角の色板２枚で三角形が作れたことを確認する。 ・　【き】【く】【け】の作り方を１こずつ，全体で確認する。 ・　「三角が２つで大きな三角ができる。」「三角が２つで四角ができる。」などの言い方を提示しておくことで，図と言葉を結びつけて説明ができるようにする。 ・　四角を作る方法が２通りあることを確認する。 ・　三角２枚でできる四角が方眼の１ますに当たることに気付かせる。 ・　自分の考えをもてたら，自分のワークシートをタブレットで撮影し，後で全体共有できるようにしてお	・　影絵の形を観察して，色板の並べ方や枚数を考えている。（ワークシート，発言）

○「きほんのさんかくさん」を使わないで，どうやったら分かりますか。 ・マス目に合わせて線を引くと，「きほんのさんかくさん」が何枚か分かります。	く。 ・　ワークシートに方眼に合わせて線を引くことで，色板を使わないでも枚数が分かることを確認する。 ・　自力で解決できない児童には，【き】【く】【け】の一部を隠すことで，大きな三角や四角があることに気付かせる。	
【まとめ】きほんのさんかくさんのならべかたは，せんをひくとわかる。		
5　本時のまとめをする。 6　練習問題として，この形をつくる。 7　振り返りをする。	・　方眼に合わせて線を引いてから，色板を並べさせる。	
振り返り例 ・　ほうがんにあわせてせんをひくと，きほんのさんかくさんをならべたり，まいすうをかぞえたりしやすいことがわかった。 ・　なんまいでつくられたかたちなのか，せんをひいてからかんがえたい。		

7　板書計画

11/9　かたちづくり

め　かげえにぴったりあうきほんのさんかくさんのならべかたをかんがえよう。

か　け

き　き　こ

教科書の挿絵

く

ま　せんをひくと，ならべかたやまいすうがわかる。